

「公衆衛生にこだわっています。」



城陽市
森岡 順子 さん

「公衆衛生にこだわっています。」

この言葉の通り公衆衛生（地域保健）を守りたいという思いから保健師になった。地元鹿児島を離れ、京都の看護学校を卒業し、岡山の公衆衛生看護学校に行った後、城陽市で働くことになった。

城陽市には地域分担があり、各保健師が担当地域を持っている。担当地域の中で成人保健担当というように基本的な業務分担はあるが、実際は母子から成人まで一貫してケアし、地域住民全体の健康を管理している。

デスクワークが増えてきた今日だが、年間で計画を立てるなど業務を整理し、できるだけ地域に出て住民と接する機会を作れるような工夫をしている。それが地域全体を把握することにつながり、できるだけ格差のないケアを提供できる。

また城陽市の特徴としては住民の自主活動が盛んで、住民が健康づくりに対して積極的である。その中で保健師の仕事として、主体的に健康について考えることのできる住民を少しでも増やすため、住民に対して意識的に疑問を投げかけるように心がけている。

「住民同士が気軽に話し合ったり、助け合ったりできる環境を作りたいですね。」そのきっかけとして、不満を言ったり、本音で話し合ったりできるような健康教室を開き、住民間のつながりを作ることが目標だ。

地域づくりから住民間コミュニケーションの充実へと発展させ、最終的には社会的に健康になるよう、保健師歴32年の大ベテランとなった現在でも初心を忘れることなく、より広い地域の公衆衛生に目を向け奮闘しているのである。